

Just Composed '99 in Yokohama

現代作曲家シリーズ

曲目

斉木 由美

新曲

(財)横浜市文化振興財団委嘱作品
世界初演

鈴木 和彦

新曲

(財)横浜市文化振興財団委嘱作品
世界初演

八村 義夫

「ブレッシング・フィールド」
('80年横浜市委嘱作品)

Gerhard Stabler

「...Strike the ear...」
(日本初演)

Magnus Lindberg

「Quintetto dell'estate」
(日本初演)

Tristan Murail

「Vues Aeriennes」
(日本初演)

世紀^{じだい}を超えて...

1999.7.17(土) 15:00開演

木のホール
神奈川県立音楽堂

出演：東京シンフォニエッタ

料金：一般 3,000円

シルバー・学生 1,000円

(全席指定)

主催
財団法人 横浜市文化振興財団
神奈川県立音楽堂
[(財)神奈川芸術文化財団]

企画・制作・問い合わせ
財団法人 横浜市文化振興財団
045-682-4108

後援
横浜市・神奈川新聞社・TVKテレビ

ラジオ日本・Fm yokohama 84.7

やむを得ない事情により曲目、演奏者が
変更となる場合がございます

前売開始 4月14日(水)

チケット取り扱い ※シルバー・学生券は音楽堂及び県民ホールチケットセンターのみでのお取り扱いとなります。

音楽堂チケットセンター / 045-263-2255

県民ホールチケットセンター / 045-662-8866

チケットぴあ / 03-5237-9990

チケットセゾン / 03-3250-9990

ローソンチケット / 03-3569-9999

ヤマハミュージックショップ横浜 / 045-311-1202

Just Composed '99 in Yokohama

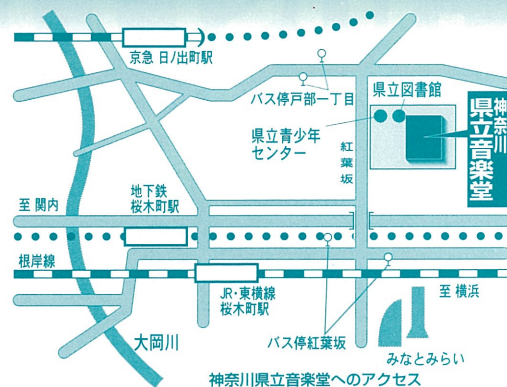
開港以来、常に新しい文化を受け入れ発信してきた横浜から、
いま新しい音が紡ぎだされます。

現代音楽は、今に生きる私たちの音楽。

“Just Composed”

新しい調べの誕生です。

斉木由美、鈴木和彦の両作曲家は、
野平一郎、宮田まゆみ、白石美雪の3氏により選ばれました。



神奈川県立音楽堂へのアクセス

- JR・東横線 市営地下鉄=桜木町駅から徒歩10分
- 京浜急行=日ノ出町駅から徒歩10分
- 市営バス=紅葉坂または戸部一丁目から徒歩5分



斉木 由美 (Saiki Yumi)

'64年三重県桑名市に生まれる。愛知県立芸術大学音楽学部作曲専攻卒業。'91年渡仏。'92年パリエコールノルマル音楽院作曲科卒業後、同年パリ国立高等音楽院作曲科入学、'95年同科を一等賞を得て首席で卒業。作曲を兼田敏、保科洋、平義久、ポール・ネファノ各氏に師事。

'93年「弦楽四重奏曲~ILLUSION」が、第9回名古屋文化振興賞作曲賞入

選。翌年ダルムシュタットアンサンブルにより初演。同年第62回日本音楽コンクール作曲部門で「7人の奏者のための~En étrange voyage」が第2位入賞。同じくドイツでは「音響空間の中のスペクタクル」フェスティバルにて作曲家建築家共同制作による作品「室内アンサンブルとエレクトロニクスのための~Une journée dans l'usine」を発表。「オーボエと11人の奏者のための~La Pièce(1994)」は、'96年作曲家によるレクチャー付コンサートの中で、アンサンブルL'ITINERAIREによってパリで初演された。

'96年帰国後、同志社女子大学音楽学科専任講師として、後進の指導にあっている。

鈴木 和彦 (Suzuki Kazuhiko)

'67年福島県二本松市に生まれる。

岡部富士夫氏のもとで作曲の手ほどきを受ける。国立音楽大学を卒業。島岡譲氏に和声・対位法を、田中利光氏に作曲を学ぶ。

'92年、オランダ政府奨学金を得て、オランダに留学。デン・ハーグのソノロジーコースで学んだ後、アムステルダムのスヴェーリンク音楽院を卒業。T・ルーヴェンディ氏に作曲を学ぶ。様々なワークショップに参加し、これまでに、G・シュテーパー、G・ブローフィー、C・ラウバ各氏などから指導を受ける。

'95年、フルートとコントラバスのための「Spin Out」がガウデアムス・ウィーク(アムステルダム)においてガウデアムス賞候補曲に選ばれ、演奏される。翌年オランダ・アッペルドールン市で行われた「Young Composers' Meeting」において1位を受賞。'98年には第10回秋吉台国際現代音楽セミナーにおいて作品が演奏される。また同年のガウデアムス・ウィークにて8人の演奏者のための「蝶音」が選ばれ、演奏される。アムステルダム在住。



東京シンフォニエッタ (Tokyo Sinfonietta)

'94年若手のソリスト、在京オーケストラのメンバーを中心に結成された現代音楽演奏のための自主運営による室内オーケストラ。'45年以後に作曲された作品を主なレパートリーとし、話題作の日本初演や作品委嘱、又ドイツ、フランス、韓国の音楽フェスティバルに出演を行う等、現代音楽の分野でめざましい活動を行う。室内オーケストラの難曲から、リンドベルイ等の超絶技巧的な室内楽作品に到る作品の初演を中心とした演奏活動は、日本における現代音楽演奏分野の確立をめざす一過程として、仏ル・モンド紙等で高く評価された。



●選定委員

野平 一郎 (Nodaira Ichiro)

'53年東京に生まれる。

東京藝術大学、及び同大学院修士課程、パリ国立高等音楽院に学ぶ。作曲家及びピアニストとして活躍。すでに40以上の作品がフランス文化省、イルカム、アンサンブル・アンテルコンタンポランその他の委嘱として作曲されている。現代音楽専門の室内オーケストラ「東京シンフォニエッタ」代表。現在東京藝術大学助教授。武井賞('90)、中島健蔵音楽賞('95)、尾高賞、芸術選奨文部大臣新人賞、京都音楽賞実践部門賞('96)を受賞。



宮田 まゆみ (Miyata Mayumi)

国立音楽大学ピアノ科卒業後、雅楽を学ぶ。

東洋の伝統楽器「笙(しょう)」を国際的に広めた第一人者。古典雅楽はもとより、現代音楽、オーケストラとの共演などにより、「笙」の多彩な可能性を積極的に追求している。

'79年より国立劇場の雅楽公演に出演。'83年より笙のリサイタルを行って注目を集め、第3回リサイタルにより芸術選奨文部大臣新人賞を受賞する。

'87年にエイボン女性年度賞「芸術賞」、'93年に中島健蔵音楽賞、'98年横浜文化賞奨励賞を受賞する。



白石 美雪 (Shiraishi Miyuki)

東京に生まれる。東京藝術大学、及び同大学院修士課程修了。

20世紀の音楽を中心に幅広く研究活動を展開している。音楽評論も手がけ、読売新聞でコンサート評を担当。NHK-FMの「現代の音楽」にレギュラー出演しているほか、「ベスト・オブ・クラシック」や「海外クラシック・コンサート」などの解説をつとめる。著作は「はじめての音楽史」(音楽之友社、共著)など。論文多数。

現在、武蔵野美術大学助教授、国立音楽大学非常勤講師。

